

「杜の都から世界を照らしたい ～宮城県とタイの架け橋を目指して～ Vol. 4」

みやぎ海外絆大使

JICA 海外協力隊 2023 年度 4 次隊 タイ・日本語教育
横澤 萌佳

サワディーカー。JICA 海外協力隊 2023 年度 4 次隊タイ・日本語教育の横澤萌佳です。
私は、タイ東北地方に位置するコーンケン県ナムポン郡にある中高一貫校で日本語教師として活動しています。教科書の内容を教えることはもちろんですが、日本文化を実際に体験する授業も大切にしています。また、配属先の学校だけではなく、同じ地域の日本語教育機関で授業をさせていただく機会もあります。

この日は、コーンケン大学の日本語教育学科の学生に向けて、宮城県の文化を紹介しました。「宮城県は日本の東北地方にあります。私は日本のイサーン（東北）から来ました。」という自己紹介をきっかけに、1 年生には「かるた」を通して仙台の四季折々の祭り、食文化、プロスポーツチームを紹介。2 年生と 3 年生には、「仙台弁」を取り上げました。特に仙台弁の授業では、タイの東北地方にも「イサーン語（東北方言）」があるという共通点から、日本とタイそれぞれの東北方言と標準語との違いを比較して考える良い機会となりました。

授業後には、「おらたち、めんこい！（私たちはかわいい！）」と呟きながら教室を出ていく学生もあり、その姿がとても“めんこかった（かわいかった）”です。

引き続き、配属先の学校の生徒だけに留まらず、ご縁を大切にしながら、地域の方々にも宮城県や仙台を知ってもらうきっかけを提供していきたいと思います。



宮城県のプロスポーツチーム「ベガルタ仙台」紹介する様子



仙台弁を勉強した大学3年生



「宮城県かるた」を実施した大学1年生